

完全燃焼!

梅雨入り直後であったため、天気が心配されましたが、男女ソフトテニスの個人戦の一部が延期しての実施となったものの、昨日、無事に市中総体球技・武道大会の全日程が終了しました。

“悔いが残らない試合”だったかどうかは、それぞれだったと思います。ただ、どの部も持てる力を十分に発揮し、“完全燃焼”してくれたと確信しています。結果、県大会への出場権を得たのは、卓球部の平湯翔君(優勝)、宮崎聖人君(準優勝)、ソフトテニス部の林田晴彦君・岩田大雅君ペア(優勝)の4名でした。あと、21日(火)に陸上大会がありますので、少しでも多くの生徒が県大会へ出場できるようになることを願っています。

いずれにしても、今大会で多くの3年生が引退となります。この2年間で得たものは大きいはず。この経験を活かし、学習面で“完全燃焼”し、満足いく結果を残してほしいと思います。意外と切り替えが難しく、今まで部活動に費やしていた時間を勉強に・・・といかない生徒もいます。まずは定期テストに照準を合わせ、確実に学習時間の確保を行って欲しいと思います。

また、2年生はこれから各部の主力選手となってチームを牽引していかなければなりません。1、2年生が一致団結して各部を盛り上げ、次年度、先輩を超える結果を残して欲しいと思います。



礼に始まり...

職員室に用事があるとき、生徒は「失礼します」と言って入ってきます。出ていくときにも「失礼しました」との一言。先日、私も朝の散歩をしているときに知人とすれ違い、ちょっとした会話をした後「失礼します」と言って別れました。このように、本当に身近な言葉でよく使っています。これによく似た言葉に「非礼」とか「無礼」があります。それにランクがあることをご存知ですか。私もちょっと気になったので、早速調べてみました。ちなみに、これらより軽い言葉に「失敬」とか「無作法」があるようで『無作法<失敬<失礼<無礼<非礼』の順で意味が重いそうです。

ビジネスシーンでは、特に「失礼、無礼、非礼」という言葉は重要視されており、相手にお詫びをするときは、「この度の非礼の数々、誠に申し訳ございません」などと表現します。

「礼に始まり、礼に終わる」これは、武道における礼儀として用いられる言葉ですが、一般社会においても、重んじられる精神の一つであることは間違いありません。だからこそ、『日々の生活の中で、相手を重んじ、「失礼」や「無礼」「非礼」が無いように気をつける。』その習慣を身に付けていく必要があるのです。

